

二〇二〇年度 入学試験問題

国語

第三回

【注意】

- ・試験時間は五〇分です。（八時五〇分～九時四〇分）
- ・問題は一ページから八ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙の解答らんに記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

問一

——(1)「グローバル人材育成委員会」とありますが、グローバル人材の育成が急務になった背景について、ふさわしいものをア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 経済状況の変化があり、世界的な競争と共生が進む現代社会において、互いを理解して、自国の利益よりも社会貢献意識を持った自立した人材が必要になったこと。

イ 経済状況の変化により世界的な競争が進み、数多くの価値観が無数に連立する中で、自分の価値観にこだわを持ち、周囲にアピールできる人材が必要になったこと。

ウ 世界的な競争が年々激しさを増し、IT化などにより、人工知能に仕事を代替されるかもしれないなかで、人間にしかできないことが何かを見出す必要性が生まれたこと。

エ 経済状況の変化があり、少子化によって国内市場が縮小を続ける中で、日本が海外に市場を求めていくために国際競争を勝ち抜く人材が必要になったこと。

問二

——(2)「『グローバル人材』を育てるためにどんな教育をすればよいか」とありますが、それについて筆者はどのように説明していますか。解答らん二行以内で答えなさい。

問三

——(3)「『グローバル人材』という言葉そのものへの違和感」とありますが、筆者はどのような点に違和感を抱いていますか。解答らん二行以内で答えなさい。

問四

(4) にあてはまる文としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア そのために習得させるべきスキルはまずもって日本人としてのアイデンティティだ、だから、個人が異国の人に語れるくらい文化を深く習得させなければならぬ。そのうえで、産官学が連携することで強固なネットワークを築き、国際競争を勝ち抜くべきである。

イ そのために習得させるべきスキルはまずもって英語だ、だから学校教育でも企業でも英語を習得させなければならない。そのうえで、相互理解のためのコミュニケーション能力や従来の発想にとられない柔軟な思考力という武器も装備すべきである。

ウ そのために習得させるべきスキルはまずもって母語である日本語だ、だから学校教育では、物事を考える力の土台になる日本語を深く学ばせなければならない。そうすることで、従来の発想にとられない柔軟な思考力という武器が装備できるはずである。

エ そのために習得させるべきスキルはまずもってさまざまなバックグラウンドを持つ人たちとともに課題を乗り越えていく力だ、だから学校教育でも企業でも相互理解のためのコミュニケーション能力を高めるとい武器を装備すべきである。

問五

——(5)「ぼくの考えは少々違います。」とありますが、筆者の考えをグローバルという言葉の意味をふまえた上で、六十五字以内で答えなさい。(句読点を含みます。)

問六

A D に入れるのにふさわしい言葉を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使えます。)

ア しかし イ つまり ウ まず エ そもそも

問七

——(ア)～(オ)のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 小学校から英語の授業を入れたり、英語教育に特化した推進校をつくるなどは、英語力強化の実効性について検証されていないため定かでないが、まずは英語ができるようになることは未来を生きたる子供たちの価値の源になるはずである。

イ アメリカの大学生は、世界中から英語のできる優秀な人材が競争相手として殺到^{さつとう}してくるので、それ以外のスキルを身につけないと生きていけないと考えているので、その姿は日本人の「英語さえできれば」という考え方とは対照的である。

ウ 世界的に「グローバル人材」が求められるようになっていて、アメリカの学生が優位に立っていることは間違いないにもかかわらず、不安や焦燥感^{しやうそうかん}を持っているのは、アメリカ社会が競争社会ではあるが、共生社会でないためである。

エ 小学校から英語の時間を入れる、英検を積極的に受けさせるなど英語力強化に絶対的に実効性のあることを日本人はしており、相互理解のためのコミュニケーション能力を高めることや従来の発想にとらわれないことが何より大切であると考えている。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

130

125

120

115

110

105

100

問一

——(1)「欠伸^{あくび}を噛^かみ殺^{ころ}すような表情」とありますが、このときの南原さんの様子としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 瑞希の話が自分には関係ないことであつたため、気楽に聞いている様子。

イ 瑞希の震え^{ふる}、たどたどしい説明では時間がかかりすぎ、いらいらしている様子。

ウ 瑞希の話の内容が理解できないため、うんざりしているのを隠^{かく}している様子。

エ 瑞希が自分に話をしてきた意図が分からないため、飽^あき飽^あきする気持ちを悟^{さと}られないようにする様子。

問二

——(2)「大きな息を吐^はいた。」とありますが、ここにこめられた心情について解答らんに二行以内で答えなさい。

問三

——(3)「冗談^{じやうだん}はやめてっ！ チャンスは二度ないの」とありますが、河合先輩^{せんぱい}がそう考えるのは、どのような経験をしてきたからですか。解答らんに二行以内で答えなさい。

問四

——(4)「横」とありますが、「横」を使った次の一～五の表現の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

一 横顔

二 横紙破り

三 横流し

四 横道にそれる

五 横やりを入れる

「意味」

ア 話などが正しい方向からはずれる。

イ ある人のあまり知られていない一面。

ウ 自分の言い分を無理やりおしとおす。

エ 品物を正しくないやり方でよそへ売る。

オ わきから口を出してじゃまをする。

問五

——(5)『な』と、稔が横から肘で小突いてきた。」とありますが、ここで表されているのは、稔のどのような考えですか。ここまでの内容から判断し、三十文字以内で答えなさい。(句読点を含みます。)

問六

——(6)「瑞希が唾を飲み込んだ。」とありますが、その理由について、ふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 南原さんが他の部員達に与える影響力を頼りにして、昼休みに謝りにいったのに、結局がんばろうという気持ちは受け取ってもらえなかったから。

イ 南原さんの「たとえ、勝てても駄目。」という発言の意味を、周囲はわかっているにも関わらず理解できなかったから。

ウ 瑞希は河合さんの言葉だけでも暗い気持ちになっていたのに、影響力のある南原さんの重い一言によって周囲の非難がますます高まったから。

エ 瑞希は、昼に同情を表してくれていた南原さんを理解者であると思っており、まさか批判されるとは思わなかったから。

問七

A D に当てはまる次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし、記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア ずっと イ ちゃんと ウ ぴしやりと エ くるりと

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「うなだれる瑞希の影が薄く伸びていた。それも、雲が覆い隠してしまう。」という表現は、薄日が射していることで、瑞希の将来に希望が持て、この事態が好転することを暗示している。

イ 「うなだれる瑞希の影が薄く伸びていた。それも、雲が覆い隠してしまう。」という表現は、射していた薄日が、急に雲によって覆い隠されてしまうように、瑞希が突然苦しい立場におかれたことを暗示している。

ウ 「パネ人形のように」という表現は、先輩たちから陸上部を追い出されそうになっていたのに、高瀬先生から、新人戦に出る許可をもらった瑞希の、はすむような気持ちを表している。

エ 「パネ人形のように」という表現だけでなく「羽根が生えてるんじゃないかというような」という表現は、瑞希が周囲の目を気にせずに自分の感情を表現するがゆえに、反感を買いやすい性格であることを表している。

